

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 2 月号

1. 県畜産共進会「褒賞授与式」肥育牛の部 津村将彦さんグランドチャンピオン受賞

J A 鳥取いなばと県畜産共進会は1月12日、鳥取市のJ A湖山本店で、昨年11月13日に行われた2021年度県畜産共進会の褒賞授与式を開いた。「肥育牛の部」でグランドチャンピオンを獲得した若桜町の津村将彦さん（写真左から2人目）の功績を称えた。

40頭が出品され、枝肉重量・ロース芯面積などを審査した。津村さんが出品した「白鵬茂久」は、外観と枝肉に厚みがあり、BMSと肉質も良好で、迫力のある枝肉だったことが評価された。



2. 第2期営農指導員育成強化職員「成果発表会」

J A 鳥取いなばは1月17日、第2期営農指導員育成強化職員「成果発表会」を鳥取市のJ A湖山本店で開いた。営農担当職員11人が2年間の取り組み成果を発表。同日は、第3期生の任命式も開催し10人に任命証を手渡した。

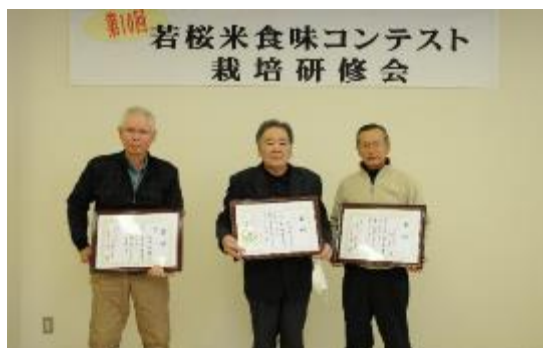
同J Aは入組10年未満の営農業務に携わる職員を対象に2017年から営農指導員育成強化プログラムを導入。営農指導の充実を目指し人材育成に取り組んでいる。



3. 第10回若桜米食味コンテスト

J A 鳥取いなば若桜支店と若桜町は1月13日、第10回若桜米食味コンテストを同支店で開いた。同J A管内の生産者21人が出品。新林貴美教さん（写真中央）出品の県オリジナル米「星空舞」が第1位に輝いた。「星空舞」「コシヒカリ」「ひとめぼれ」などの食味値から上位3人を表彰した。

「若桜米」は、自然環境の良さと確かな品質から評価が高く、消費者からも注目を集めている。また、タニタ食堂へも提供しており好評を得ている。



4. 「米一握り運動」わかばへ寄贈 女性会鳥取支部

J A鳥取いなば女性会鳥取支部は1月24日、同J Aグループで、介護施設を運営する鳥取市の(株)わかば本社を訪れ、女性会員の募金で購入した米「きぬむすめ」90キロを同社の濱本康義社長に手渡した。

J Aとっとり女性協議会が推進する地域貢献活動「米一握り運動」の一環。同支部は、同J A青壮年部員らと協力して餅つきを行い、餅やぜんざいの収益金を寄贈していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年からは米を贈っている。



以上